

2025 年 11 月 12 日
三井広報委員会

～セ・パ両リーグ 18 名の“守備のスペシャリスト”を表彰～
**2025 年度「第 54 回三井ゴールデン・グラブ賞」
受賞選手決定**

当社含め、三井グループ企業 24 社で構成する三井広報委員会は、その年の守備のスペシャリストを表彰する「三井ゴールデン・グラブ賞」（三井GG賞）を提供しています。本日、2025 年度／第 54 回の受賞選手 18 名を発表いたしました。

シーズンを通し卓越した「守備」でチームに貢献する選手を表彰する三井GG賞は、セ・パ両リーグの第三者公式表彰として制定され、新聞・通信・テレビ・ラジオ各媒体の現場取材歴5年以上のプロ野球担当記者による投票で選出いたします。第 54 回となる本年は、109 社 350 名の記者投票により決定いたしました。

表彰式は 11 月 27 日（木）都内ホテルにて開催し、受賞選手には、選手それぞれが愛用するグラブをかたどった三井ゴールデン・グラブ賞トロフィーと賞金 50 万円が贈られます。

■第 54 回 三井ゴールデン・グラブ賞 受賞選手

◇セントラル・リーグ

【投手】	村上 頌樹	（阪神タイガース）	初受賞
【捕手】	坂本 誠志郎	（阪神タイガース）	2 年ぶり 2 回目
【一塁手】	大山 悠輔	（阪神タイガース）	2 年ぶり 2 回目
【二塁手】	中野 拓夢	（阪神タイガース）	2 年ぶり 2 回目
【三塁手】	佐藤 輝明	（阪神タイガース）	初受賞
【遊撃手】	泉口 友汰	（読売ジャイアンツ）	初受賞
【外野手】	岡林 勇希	（中日ドラゴンズ）	4 年連続 4 回目
	近本 光司	（阪神タイガース）	5 年連続 5 回目
	森下 翔太	（阪神タイガース）	初受賞

◇パシフィック・リーグ

【投手】	伊藤 大海	（北海道日本ハムファイターズ）	初受賞
【捕手】	若月 健矢	（オリックス・バファローズ）	2 年ぶり 2 回目
【一塁手】	T. ネビン	（埼玉西武ライオンズ）	初受賞
【二塁手】	牧原 大成	（福岡ソフトバンクホークス）	初受賞
【三塁手】	村林 一輝	（東北楽天ゴールデンイーグルス）	初受賞
【遊撃手】	紅林 弘太郎	（オリックス・バファローズ）	初受賞
【外野手】	周東 佑京	（福岡ソフトバンクホークス）	2 年連続 2 回目
	辰己 涼介	（東北楽天ゴールデンイーグルス）	5 年連続 5 回目
	西川 愛也	（埼玉西武ライオンズ）	初受賞

■三井ゴールデン・クラブ賞 (<https://mgg.mitsuipr.com>) の概要

卓越した守備によりチームに貢献し、プロの技術を発揮したプレーを基準として、セントラル・リーグ、パシフィック・リーグそれぞれ、各ポジションから9名を選出し、「守備のスペシャリスト」として表彰するものです。総合的な技能を基本として選ばれる従来のベストナインとは観点を異にしています。

1972 年に三井物産スポーツ用品販売（当時）の申し入れにより「ダイヤモンドクラブ賞」として制定され、1986 年より三井広報委員会が提供を引継ぎ、現在の表彰名称「三井ゴールデン・クラブ賞」となりました。

＜選考対象となるプレイヤーの資格＞

投手は規定投球回数以上投球していること、またはチーム試合数の 1/3 以上登板していること。

捕手はチーム試合数の 1/2 以上捕手として出場していること。

内野手はチーム試合数の 1/2 以上 1 ポジションの守備についていること。

外野手はチーム試合数の 1/2 以上外野手として出場していること。

※本年度の選考対象試合は、セントラル・リーグ、パシフィック・リーグレギュラーシーズン 143 試合となります。

※本年度のチーム試合数の 1/3 以上は 47 試合以上、1/2 以上は 71 試合以上となります。

■三井広報委員会 (<https://www.mitsuipr.com>)

三井広報委員会は、三井グループ企業 24 社で構成し、様々な文化活動および広報活動を通じて、国際交流や地域社会の活性化に貢献すると共に、社会の繁栄と福祉に寄与し、三井グループのより一層のイメージ向上を目指しています。

2010 年からは、三井GG賞を受賞した元プロ野球選手を講師に招き、少年野球の指導者を対象とした「三井ゴールデン・クラブ野球教室」を全国各地で開催。これまでに 24 回開催しています。

また 2015 年には、日本の伝統を継承しながら未来につながるものづくりに真摯に取り組み、さらに発展させている伝統工芸の担い手を応援したいという思いから、「三井ゴールデン匠賞」を創設。これまで5回の贈賞を行っています。